

(ス) 課題番号13

課題分野：Ⅲ	課題名：「薬用作物の産地づくり」	
対象：トウキ試作経営者	計画期間：H27～29	
	農林振興事務所名：南部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
①省力生産・調整システムの検討 ②根部以外の活用検討（葉の利用）	①省力作業の実証、とりまとめ ②実証圃設置、巡回指導、経営分析、とりまとめ	①省力技術導入者2名。 ②新たに4名の農業者がトウキ葉収穫に取り組み。

総合評価（コメント）
<p>A：5名</p> <p>■この3年間よくやってこられたと思います。ただ、3年たち、はたしてこの品目の有望性がどの程度あるのかについて、率直に議論していただく時期にもきていると考えます。</p> <p>■県の推し進める戦略の中で、重要な位置づけになっていると思われるので、頑張ってください。</p> <p>■新葉の販売、生薬の販売などにより、トウキの知名度が上がり、薬用作物の産地づくりに役立っていると思う。</p> <p>■まだまだ十分な成果が出たとはいえないが、課題が明確になったことで、今後が期待される。</p> <p>■今後も東部農林ともどもヤマトウキの生育技術の確立と省力化への取り組みをお願いしたい。）</p> <p>B：1名</p> <p>■経営分析結果を見る限りでは所得が2～5万円と低く、特に種苗費のウエイトが高く収益を圧迫している。宇陀のような協議会などの工夫が必要では。</p>

普及指導計画への反映状況等
<p>■所得が低いことはご指摘の通りで、収量の増量と種苗費等のコストの縮減に努めて所得の確保を行いたい。</p>